

## 令和8年度 事業計画

令和8年度の方針は、引続き「サステナビリティ（持続可能性）への貢献」です。具体的には、地域産業、地域社会、会員企業それぞれの持続的発展への貢献です。

令和8年度は、龍野商工会議所にとって設立75周年という節目の年に当たります。これまでの取組みの集大成であるとともに、今後の方向性を指し示すべく事業計画を策定しました。

### 1. 地域産業の持続的発展

龍野地域の産業構造は、「大企業の工場群」、「長年、重厚長大型の大企業を支えてきた多種多様な基盤技術を有した企業群」、そして「醤油・素麺・皮革を中心とした地場産業の企業群」の3つの企業群が集積しているという大きな特徴があります。それぞれは既に十分強固ですが、相互連携を深めることによって、地域産業は更なる飛躍を遂げる可能性を秘めています。令和5年に連携協定を締結した兵庫県立大学の協力を頂き、この3つの企業群の相互連携を深めています。

昨年度までは、地元に立地する大企業におけるカーボンニュートラルの取組みについて情報共有を図るとともに、県立大学の協力を頂きながら中小企業においても取組める手法の検討を進めてまいりました。また、醤油・食品製造業における食品残渣処理についても、県立大学の協力を得ながら検討を重ねてまいりました。

それら省エネ、省コストを目指した取組みに加えて、日本企業の強みである“擦り合わせ”力の強化によって売上を増やしていく取組みについても焦点を当ててシンポジウムを開催する等取組んでまいります。

### 2. 地域社会の持続的発展

地域産業や会員企業の持続的発展の前提として、経営環境の整備が必要不可欠です。そこで、経営環境の整備、すなわち、龍野の「まちづくり」を進めてまいります。

たつの市内には多くの開発プロジェクトが計画されており、旧龍野市内だけを見ても、JR本竜野駅前に宿泊施設や複合施設の整備計画、赤とんぼ広場ショッピングセンター跡地での医療・介護複合施設整備計画、川西の重伝建地区における飲食・宿泊施設などおもてなし施設の整備計画、龍野インターチェンジ周辺の工場・商業施設開発計画、龍野西インターチェンジ周辺や中井地区における工業団地開発計画等さまざまなプロジェクトが進められようとしています。

これらのプロジェクトを“線”でつなぎ、“面”の計画にすることによって、この龍野地域は大きく飛躍すると確信しています。関係各位と情報共有を図るとともに連携を密にして、地域全体のプロジェクトとして取り組んでまいります。

この取組みの皮切りとしてシンポジウムを開催するなど、連携体制を組んでオール龍野で進めてまいりたいと考えています。

### 3. 会員企業の持続的発展

会員企業を取り巻く環境は、人口減少という長期課題に加え、物価高騰、人材不足という大きな課題にも直面しています。

この厳しい経営環境の中、事業継続に向け懸命に経営努力を行っている会員企業へのきめ細やかな支援に注力してまいりました。引続き巡回相談を中心に、最重要課題として取り組んでまいります。

その上で、ITを活用して生産性向上に努める会員企業への積極的な支援を展開してまいります。各社がDXを推進するに当たって立ちはだかっている知識不足、人材不足、資金不足といった課題を乗り越えるため、ソフトをリスト化し導入特典も付与した「デジサポ」事業を立ち上げ、支援に努めています。

併せて、脱炭素社会への対応を支援するため、二酸化炭素排出量測定システムの活用をサポートする「見えサポ」事業を開始しています。

また、喫緊の課題となっている事業承継支援についても、金融機関等のご協力を頂きながら取り組んでまいります。従来はコロナ禍もあり、順調に支援できているという状況ではありませんが、事業承継フォーラムを開催するなど、金融機関や土業の皆さまと連携して再始動させてまいります。

以上の通り、龍野商工会議所は、「サステナビリティへの貢献」の掛け声のもと、龍野地域の持続可能な発展、並びに会員企業の持続可能な成長を目指し、来る80周年を見据えて諸事業を展開してまいりたいと計画しています。

## 重点項目

### 1. 地域産業の持続的発展への貢献

#### (1) DX推進を始めとした生産性向上に向けた支援

日本企業の強みである「擦り合わせ」を切り口として、新興国企業やAIに代替されない企業を目指す。

また、大企業におけるDXの取組みについて、県立大の協力の下、調査研究を行うとともに企業間での情報共有を図る。調査結果を基に、中小企業への展開を目指す。

#### (2) 地場産業における将来像の探求

全国シェアトップである「手延素麺」、「淡口醤油」、「皮革」各産業の目指すべき将来像を業界団体等と連携して探求する。

#### (3) 脱炭素社会に向けた調査研究

龍野地域に立地する大企業の工場等における脱炭素社会に向けた取組みや課題について調査研究し、効果的な取組みを共有するとともに課題を取りまとめる。兵庫県立大学環境人間学部等の協力を得て、進めていく。

醤油・食品両工業部会において、食品残渣処理についての調査研究を引き続き行う。

#### (4) SDGsについての取組み

兵庫県立大学環境人間学部の学生等の協力を得て、各会員企業におけるSDGsの取組みをヒアリングするとともに、更なる推進に向けた提案について発表会を兵庫県立大学、西兵庫信用金庫と共催する。

県が推進しているひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業の普及等を進め、利益につながるSDGsへの取組みを促進する。

#### (5) 企業誘致促進に向けた工業用地整備の促進、および、機運醸成

兵庫県、たつの市ともに全国トップクラスの企業誘致支援施策を有しており、地元有力企業による新たな工場建設が進んでいるが、肝心の工業用地が需要に追い付いていない。

工業用地の整備に向け市に積極的に働きかけていくとともに、工業用地整備に向けた機運の醸成に取り組む。

### 2. 地域社会の持続的発展への貢献

#### (1) まちづくり

龍野地域経済が持続的に発展するためのまちづくりについて、県立大等の協力を得ながら調査研究を進める。まちづくりに取り組む様々な主体者と連携を図り、「つなぐ」機能を発揮し、「点」で計画・実施されている取組みを「線」につなぎ「面」での取組みに昇華させていくよう努める。

情報収集に努めるとともに関係者で情報共有を図り、まち全体として適切な機能配置・役割分担が果たせるよう全体構想を検討する。

## (2) 意見・要望活動

全国の商工会議所や関係諸団体と密接な連携を図りながら、地域経済の一層の発展と会員企業の更なる成長を目指した提言・要望活動を展開する。

## 3. 会員企業の持続的発展への貢献

### (1) 経営努力を続けている会員企業へのきめ細やかな支援

#### ① 部会担当職員の巡回相談による金融支援を中心とした支援

部会担当職員による巡回相談を中心にニーズや課題をヒアリングし、課題分析、解決策検討・実行を状況に応じて支援する。金融支援を中心に、資金繰り表作成から経営計画の策定・実施をサポートする。

#### ② 事業承継支援

喫緊の課題となっている事業承継について、事業承継税制の特例も活用して、承継計画の策定・実施を支援する。

また、事業承継に向けた機運を醸成するため、フォーラムを開催する等啓発活動に努める。

#### ③ BCP（事業継続計画）策定・実行支援

頻発する自然災害等の対策として、また、近年急増しているサイバーセキュリティ対策も含め、BCP策定・実行支援に取り組む。

その際、保険料が団体割引される各種保険・共済等の活用により、想定リスクに対して適切な付保ができるよう支援する。

#### ④ 人材採用・定着・育成支援

包括協定を締結した（株）タイミーが提供する人材マッチングサービスを活用し、会員企業におけるスポットワークへのニーズの充足、レギュラーバイトの確保、長期・常用雇用の実現を促進する。

龍野地域雇用開発協会、および、その構成者である近隣商工会等と共同で、若年層の定着支援、中高齢者の雇用促進等に努める。

階層別・テーマ別のセミナー・講演会、検定試験を開催し、企業の人材育成を支援する。

会議所さくら共済を中心とした共済・保険制度の普及、集団健康診断の実施、労働保険の事務代行等を通じて、会員事業所の福利厚生の実現に貢献する。

#### ⑤ 交流推進

部会対抗ゴルフコンペを開催し、会員間の交流促進を図る。

各部会において、見学会、情報交換会等を開催し、部会員間の交流促進を図る。

### (2) DX推進による生産性向上に取り組む会員企業への積極的支援

ITを活用して生産性向上に努める会員企業を積極的に支援する。知識不足、人材不足、資金不足といったDX推進に当たった課題を乗り越えるため、ソフトをリスト化し導入特典も付与した「デジサポ」事業を推進する。

DX推進の事例紹介、その前提となる情報セキュリティ対策等について、セミナーの開催、会報での紹介等を行う。

併せて、脱炭素社会への対応を支援するため、二酸化炭素排出量測定システムの活用を

サポートする「見えサポ」事業を通じて啓発に努める。

### (3) 販売促進支援

商業・サービス業部会において、新規顧客創出に向けて「龍野お店の賑わいアップ事業」を実施する。同時に勉強会を開催し、単なるイベントに終わらせることなく、イベントで来店した方を「顧客」に変える取組みを促進する。

皮革工業部会において、たつのレザー展示即売会を開催し、消費者ニーズの把握に努める。

### (4) 創業支援

創業計画策定・実行支援を中心に、創業セミナー、創業塾等を通じて創業を支援する。

シーズ発想になりがちな創業計画をニーズ志向に転換するとともに、余裕を持った資金計画を立てることによって安定した事業立上げに貢献する。

## 4. 広報・会員サービス

### (1) 有益な情報の適切な周知・広報

会報龍野、ホームページ、Facebook、メールマガジンといった媒体を使い、有益な情報を適宜情報発信する。

### (2) 貸会場サービスの提供

Wi-Fi環境、映像・音響設備に加えて飲食機能も整った、会員企業のさまざまなニーズに応えられる貸会場として活用促進に努める。

## 5. 組織基盤拡充・業務効率化

### (1) 組織基盤強化

事業者のニーズに的確に対応し、会員募集を行う。

法人4口以上、個人3口以上と会費基準を定めているが、その会費基準を満たしていない会員を対象に増口依頼を行う。

合わせて、事務効率化のために導入した会費・特定商工業者負担金の自動振替への切替えを進めていく。

### (2) 女性会

経営者としての研鑽に努めるとともに、他地域の女性会との交流を図る。

### (3) 青年部

次世代の地域経済の担い手を育成すべく、「たつのワーカーズ」事業を行う。

他地域の青年部との交流を図る。

### (4) IT活用による事務局業務の効率化

まずは、何を差し置いても法令遵守を徹底する。

また、昨今増加しているサイバーセキュリティ対策を徹底的に行う。

そのうえで、IT活用による生産性向上支援を拡充するため、経営指導員を中心に職員の研修を重点的に行う。合わせて、事務局におけるIT化を進め、業務の効率化を図る。

また、認定を受けた「ひょうご産業SDGs認証事業」、「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（フレッシュミモザ企業）」の両計画に基づき、働き甲斐があり、かつ、働きやすい職場環境を整備する。

以 上